

高木兼寛 （たかぎ かねひろ） 海軍軍醫、醫學博士。嘉永二年九月十五日日向國生れ、大正九年四月十三日歿（一八四九—一九二〇）。通稱藤四郎。號稼圃。西洋醫學を學ぶ、明治五年兵部省出仕、八年イギリス留學、歸國後東京海軍病院院長、十七年軍醫本部長、翌年海軍軍醫總監。この間成醫會（ちんぎかい）講習所、東京病院を創設。また當時主流のドイツ醫學派に對し、看護婦養成所を設けししてナイチンゲール式看護教育を導入するほど、イギリス醫學派を代表、更（さら）に兵食を改良して脚氣豫防に成功したことも知られた。貴族院議員、男爵。

著書に『心身修養』（大正五年七月、二十日廣文堂書店）、『無病實験（むびつじけん）長壽（ちやうじゆ）』（大正七年七月十五日東京堂書店）、『心身強健法』（田中久編、大正八年十一月一日東京堂「袖珍名家文庫」）等。高木喜寛著

『高木兼寛傳』（大正十一年十一月二十日高木喜寛刊）がある。

